

一般質問



加藤 文明 議員

小中一貫校の 教育行程の作成状況は

問 戸沢小・中一貫校の開校を来春に控え、教育行程作成作業はどのように進んでいるのか伺いたい。

教育長 平成27年6月に戸沢村小中一貫教育開設準備委員会を開催し、各学校の校長、教頭、教務主任、教員、PTA代表、共育課職員を構成部員とし、「学校教育目標」「経営の重点」「学習・生徒指導」「教育課程」「設備・備品」「通学方法」「PTA組織」等について検討を進めている。「学校教育目標」や「中学校の先生が小学校で授業を行う乗り入れ授業が可能か」「通学方法」など協議し決定している。その他の項目についても開設準備委員会で決

問 「徒歩通学地区」「スクールバス通学地区」それぞれ保護者説明会は充分行われたか、地域との合意形成はなされたか伺いたい。

定していきます。

教育長 平成27年11月に小学校の全保護者を対象に約3 km以内の徒歩通学についてアンケート調査を実施した。この結果を受け28年1月に小中一貫教育開設準備委員会を開

スクールバス運行 地域と合意できたか



戸小・鮭小陸上記録会

催し議論した。結果は現行のまま、3 km以内の子どもは徒歩通学にすると言うものでした。

28年2月に戸沢小の全保護者を対象にアンケート結果の報告と教育委員会としての対応方針を説明しました。一部の地域からバス通学の要望があり、この地域を対象に教育委員会の方針を再度説明したが理解を得られなかった。3月開催された教育委員会で、現行の3 km以内の徒歩は妥当であると言おう方から次のように議決した。

① 概ね3 km以内の児童は4月から10月までは徒歩通学とする。該当地区を、津谷、岩花、出舟、皿嶋、真柄、向名高地とする、3 km圏内であるが国道沿いを長い距離歩くことになる堀田沢、古口地区は除外する。

② スクールバス通学児童生徒もバス停まで徒歩通学し体力の維持向上に努める。

③ 11月から3月は全地区スクールバス通学とする。

④ 安全な通学環境を求

め、ボランティアによる「見守り隊」の拡充や街灯・歩道整備など関係機関に要望していく。

以上決議したが、小学校低学年の子ども達への配慮から今後検討していきます。

「地域の子どもは地域で育てる」と言う戸沢村の良き伝統を発揮し見守っていく雰囲気を作って行きたいと考えている。

問 通学路に予想される村道、県道における歩道の点検、整備は万全か伺いたい。

教育長 通学路変更にもなう点検、整備は関係者による安全点検を行い対策を取ってきた。今後の整備として防犯灯については今年中に整備する。国道、県道のガードレールや横断歩道、外側線は関係機関へ早急な対策を要望していきます。

放置された最上川 スキー場施設の処分は



荒廃した最上川スキー場

一般質問



小野 宏 議員

問 陸羽西線や国道47号線が往來している中で、壊れた建物が飛散したり老朽化したリフトのワイヤーが切れた場合、大きな事故につながると思います。現状のまま放置してよいのか、村として施設の解体等、具体的な対策を考えているか。

村長 最上川スキー場は昭和55年7月に第3セクター方式で、資本金7千万で設置されました。手軽に利用できるスキー場として、売上高1億円を超える時期もありました。その後、スキー人気の低迷、暖冬等の影響を受け、平成12年11月9日に破産宣告し倒産しました。国有林の使用許可が取り消され、原状復帰命令が出されましたが、会社に資産がなく実施されません

でした。平成18年2月3日にスキー場跡地を適切に管理し、再生する必要があるので、認識から、森林管理署と話し合い、跡地復旧の協定書を締結しました。

平成18年3月7日に、「土湯の森再生検討委員会」が設置され、自然再生への取り組みが行われています。リフトにつきましては、ワイヤーの劣化が著しく、万が一切れた場合は大変危険である

と認識しています。管理者も存在しないため、リフトが中途半端な物件になっていることは、間違いありません。所在地が本村でありますので、村が関わらざるを得ないと考えています。今後についても、森林管理署や法的機関と十分協議等を行い、不安の払拭に努めていきます。

事故が起きる前に 早急にできる対策は！

問 万が一事故が発生したら甚大な被害があり、村のイメージダウンにもつながると思います。事故が起きてから対応策を考えては遅すぎます。張つてあるワイヤーを緩めるとか、建物にネットを

張るとかの対応策があると思うが、村長の考えは。村のイメージダウンにもつながると思います。事故が起きてから対応策を考えては遅すぎます。張つてあるワイヤーを緩めるとか、建物にネットを

おりますので、それをもつて、議会にも具体的にお願ひすることになりますので、よろしくお願ひします。